

Classical Music Concert

In autumn 2013

クラリネット 柳澤 洋

東京芸術大学卒、同大学助教授。在学中、第47回日本音楽コンクール2位入賞。
ドイツ国立デトモルト音楽大学を首席で卒業。1983年第一回プラムス国際音楽コンクール(ハンブルク)で
最高位を獲得、ユーオーディア・アンサンブルを主宰。
CDに「マイ・ピース」、「Brilliant Clarinet/喜びの賛歌」、「ユーオーディア・V」、「ユーオーディア・クリスマス」、
「ユーオーディア・ワークショップ」、「ユーオーディア・ベストセレクション」、書籍に「わがクラリネット、喜びの歌」がある。



ヴァイオリン 工藤 美穂

桐朋学園大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを久保田良行氏に、室内楽を二重奏氏に師事。
現在、後援団体の企画に音楽、室内オーケストラのコンサートマスターや「ユーオーディア・アンサンブル」のメンバーとして、
またソリストとして国内外で活躍。
またTVやラジオのレコーディング、ミュージカル、現代音楽や実験音楽などジャンルを超えた幅広い活動を行っている。



ピアノ 柳瀬 佐和子

国立音楽大学作曲科卒業。作曲家、アレンジャーとして数多くのレコーディングを手をける。
日本の教会音楽界の育成にも貢献を続けている。
代表作品：CDソノアルバム「ピアノプレイス」、オーケストラと合唱のための「Foot Prints (あしあと)」、「詩篇23篇」ほか。



秋のクラシックコンサート2013

9.23

月祝

第一部 11:30 鳳キリスト恵み教会
第二部 16:30 南花台キリスト教会

入場無料・自由席

それぞれ開場は上記時間の30分前となります

発行 南花台キリスト教会&いずみキリスト教会

soralium

すべての最新情報は...

アンゴタイク

105919

検索

「そら」はsoralium<世界の生じる場所>のsoraです。和泉市と湾内長野市から新しい思いの芽が生じることを感じつつ発展を遂げました。そらは希望です。次は秋頃に開催いたします。
※当キリスト教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会などの習信を勧解する新興宗教とは一切関係ありません。

そら

美しく整えられた世界に何を感ずるか?

2013年(平成25年)夏発行

soralium
世界の生じる場所
第23号
夏号
発行
南花台キリスト教会
(いずみキリスト教会)

人間が、美しいと感じる比率のひとつ「黄金比」は1:1.618(約5:8)と言われています。美しさを象徴する芸術作品であるモナリザの絵画、パルテノン宮殿にはこれらの比率が活用されています。身近なもの一つとしてアップル社のロゴにも、劣らぬ比率が取り入れられています。黄金比はフィボナッチ数列といって、1、1、2、3、5、8、13、21、34という「隣り合う2つの数を加えると、次の数に等しくなる」法則です。実は、この数列の法則は自然界のなかに出現します。花びらのつき方、ひまわりの種の置き方などがその例です。
この法則を発見したのは、ピサの斜塔で有名なピサ市に生むレオナルド・フィリッポ・ボナッチというイタリアの数学者です。彼の功績は偉大と言えます。



さて、可憐に咲く花に美しさを感じ、その美しさには一定の法則が仕込まれていることを発見できたならば、秩序と美しさに満ちているこの世界を丁寧に整えてくださったデザイナーの存在を感じたり、発見することは当然のことではないでしょうか。世界のベストセラー「聖書」はこう語ります。

はじめに神が天と地を創造した。(創世記1章1節)
天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。(詩篇19篇)

自然界をはじめ動物、人間自身を通じ、創造主である神様はご自身の存在をあきらかにしておられるので、すばらしい人間はどういうわけか「緑結び」「交通安全」「子孫繁栄」など「〇〇に御利益のある神様」を、まるで商店をつくりだすかのように、思い通りに、自分たちの都合をかなえてくれる神様をつくりだしてきました。自分自身を生かし、創造して下さった創造主・神様を無視する行為を聖書にはっきりと罪であると語ります。

この世界とそこにあるすべてのものを造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮(神様)などには、お住みになりません。また、何かに不自由なことでもあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。(使徒行伝17章)

神様に背を向けて歩む人間はそれぞれ自分勝手な道を歩んできました。いま、これをお詫言のあなたも同じです。他人に見えないから、知られないからと言って積み重ねてきた罪はどれほどのものになっているでしょう。

そして人間には一度死ぬことと裁きをうけることが定まっているように(ヘブル人への手紙9章27節)

死後に待ち受けているのは永遠の世界です。天国か地獄か。あなたが思ったこと、行ったこと、すべてがさらされてもなお、私たちの罪が赦されるためにはどうしたらよいのでしょうか。

キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。(ローマ人への手紙8章1節)

神様が人とされた方、イエス・キリストは、処女マリアを通して降誕され、33歳の時に2人の強盗とともに十字架処刑されました。それは「聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれ(1コリント15章3節)」るためでした。罪なき方が私たちひとりひとりの身代わりになってくださったのです。
そして「三日目によみがえられた(1コリント15章4節)」のです。死の力を打ち破り、よみがえってくださった救い主・イエスキリストに信頼するならば、罪に定められることなく、罪を赦していただき、永遠の赦みにいかすに天国へ入ることがゆるされるのです。

あなたを今日も生かしてくださっている神様は、いつもあなたに関心をほらっておられます。「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を犠牲にされました。(1ヨハネ4章10節)」

ぜひ、まことの神様を信じ、救い主・イエスキリストを信じてくださいますよう心からお勧めいたします。

南花台キリスト教会&いずみキリスト教会教会新聞

は教会の所を鑑くたさい情報

第23号